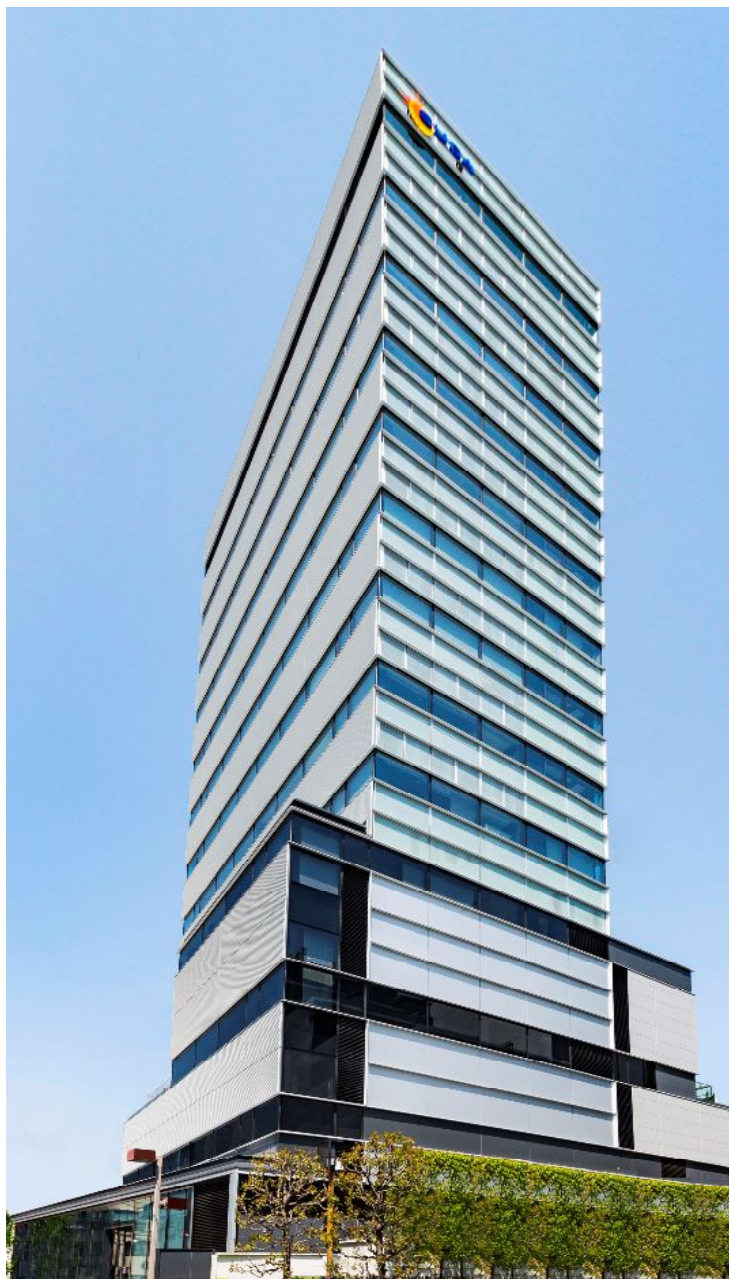


SUGA TEST FAIR 2018



2018年6月21日(木)、22日(金)に新宿本社にて、SUGA TEST FAIR 2018を開催致しました。新社屋見学会も兼ね、新製品4機種、参考出展3機種を含むスガ試験機製品の展示、セミナーを行い、2日間で延べ340名の大勢の皆様にご来場頂きました。誠にありがとうございました。

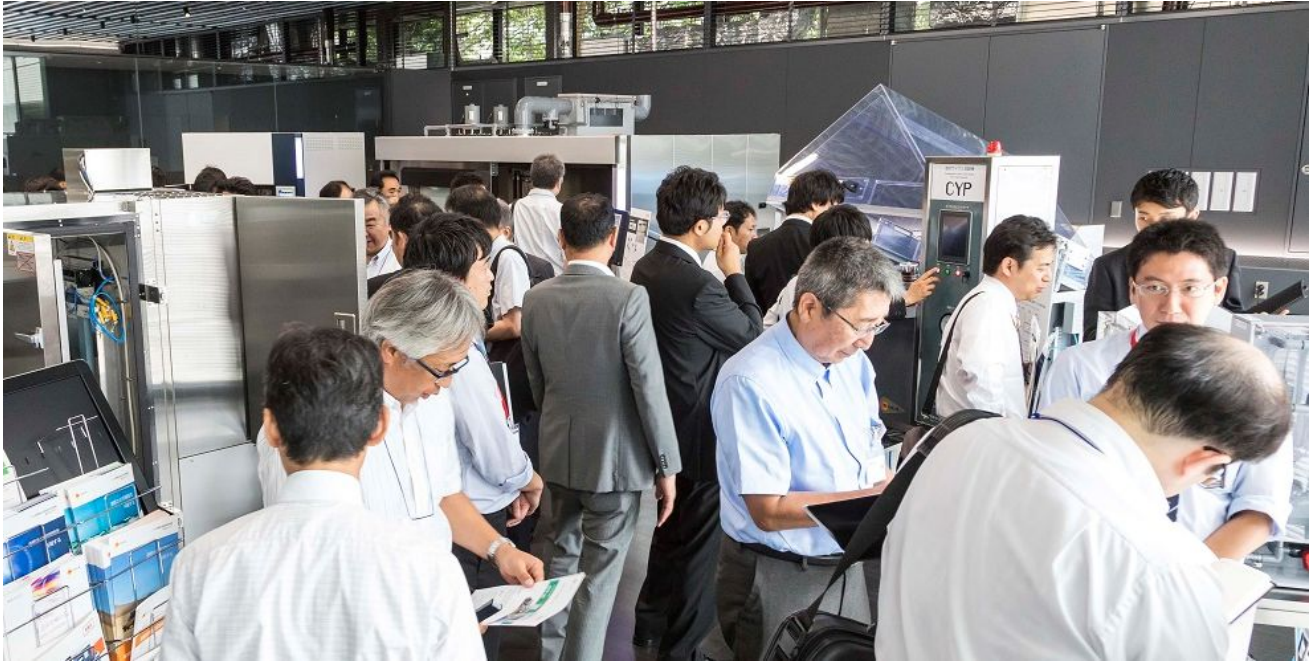
新社屋は、「ウェザリング技術のランドマーク」を目指して、ウェザリング技術の交流と発見の場となるように、各フロアにオープンスペースを多く設けています。引き続き、皆様のお越しをお待ちしております。

代表取締役社長 須賀茂雄

2018年6月

<1階 ショールーム>

新製品の卓上型の塩水噴霧試験機(STP-30型)、燃焼性試験器(ON-3T型)、写像性測定器(IC-T型、IC-45/IC-60型)、放射照度計(Rシリーズ)と、参考出展の塗膜の熱性能試験機、モジュールチャンバー製品等の展示を行いました。技術員の説明に、多くの方より活発な質問が寄せられ、大変盛況でした。



新製品展示



標準製品の展示



新製品の写像性測定器 IC シリーズ



色彩製品展示

＜2階 SUGA LAB、マテリアルライブラリー＞

SUGA LAB では、ウェザリング研究のための各種試験を実施しています。来場者の皆様から、試験機の運転管理や設置方法について様々な質問を頂きました。

マテリアルライブラリーでは、世界中の屋外暴露試験と各種促進耐候性試験の実物展示に関心が集まりました。

また、日高・川越工場の生産工程の説明パネルや、キセノンランプと各種フィルタの展示もご覧頂きました。



SUGA LAB 01 (促進耐候性試験室)



ランプ・フィルタの説明



ガス腐食試験機 GT-100 型の説明



SUGA LAB 02 (腐食促進試験室)



マテリアルライブラリー

＜マテリアルライブラリー＞

(公財)スガウェザリング技術振興財団の耐候光研究委員会では「屋外暴露と各種促進耐候性試験との相関研究」を行っています。プラスチック及び塗装材料を用いて、2009年10月より東京、沖縄、アリゾナの3地域、更に2013年4月より鹿児島、フロリダを加えた計5地域に於ける屋外暴露試験と各種促進耐候性試験を実施しており、マテリアルライブラリーではその成果の一部を展示しています。

<3階 NS ホール/4階 歴史展示>

3階 NS ホールでは、1階 ショールームの新製品展示と関連したプレゼンテーションを行いました。



NS ホール セミナー風景

<セミナープログラム>

1. これからの試験機作り (モジュール・チャンバー・システム)について

機能ごとに分割・標準化されたモジュールによる、これからのスガ試験機の試験機作りについて紹介。本システムを用いて誕生した次世代のスーパーキセノンウェザーメーターと複合サイクル試験機の特長を説明しました。

2. ISO/IEC 17025 校正について

試験の品質を維持するために、試験機の計器類の校正は非常に重要であり、様々な試験規格等でも計器類がISO/IEC 17025 校正されていることが要求されています。ISO/IEC 17025 の要求事項や不確かさの算出について、また現在弊社にて ISO/IEC 17025 校正が可能な品目について紹介しました。

3. 像鮮明度の測定技術について

物体に反射して見える像や、物体を透過して見える像がどれだけ鮮明に見えるかを表す指標として「像鮮明度」が使われています。像鮮明度の測定原理と、実用例として塗装板の評価を、既存の光学特性と像鮮明度を視感判定と比較しながら紹介しました。

4. 燃焼性試験器(ON-3T 型)について

本試験器は「酸素指数」で材料の燃焼性を評価します。タッチパネルとアップアンドダウン法自動計算機能の実装により、従来器と比べ ISO 4589-2 の試験を行う上での利便性を大幅に改善しました。

5. 塗膜の熱性能試験機について

2017年11月に制定された「JIS K 5603 “塗膜の熱性能—熱流計測法による日射吸収率の求め方”」に使用する試験機について説明しました。

4階 歴史展示では、多くの方が創業当時の資料を熱心にご覧になっていました。



展示製品紹介

<新製品>

放射照度計 R シリーズ 放射照度を自動校正。ISO/IEC 17025 適合の校正証明書の発行が可能。

ウェザーメーターの試料枠に取付け、放射照度・放射露光量を連続測定します。測定した校正結果は自動校正機能により試験機のタッチパネルのボタンひとつでウェザーメーター本体に入力可能です(対応機種はキセノン・メタリング)。測定値は ANAB 認定の校正技術によって正確に校正されています。

特長

- 実際の耐候試験と同じく試料回転中の測定で放射照度を校正
- 放射露光量の測定スケール自動切り替え機能
- 測定間隔やデータ点数が自由に設定可能



塩水噴霧試験機 STP-30 型 小型の卓上設置モデル。

塩水噴霧試験は、金属材料の耐食性を評価する腐食促進試験の中で最も基本的な試験方法であり、品質管理や受け入れ検査などに幅広く使用されています。小さな試験体や少量の試験片の試験に最適な小型の塩水噴霧試験機です。

特長

- 卓上に設置可能
- pH の変動を抑える空気遮断ボード(PAT.)付
- 試験槽は取り外してメンテナンスが可能
- 新開発の噴霧室方式採用



写像性測定器 IC シリーズ 省スペース・短時間測定。

物体の表面に写る像や、透明フィルム・プラスチック等を透過して見ることのできる物体の像の鮮明度を測定します。製品の仕上がり美観を重視した品質管理に適しています。ISO 17221、ISO 20266 対応。

特長

- 測定条件毎に装置をラインアップ
- 大型の試料に対応
- 測定時間を約 5 秒に短縮
- 光源に LED を採用
- 専用ソフトで制御・データ管理



反射専用 IC-45 型/IC-60 型



透過専用 IC-T 型

燃焼性試験器 ON-3T 型 酸素指数値で評価、ISO 4589-2 : 2017 対応。

酸素指数は有炎燃焼を維持する最小の酸素濃度であり、試験片の燃焼性を評価する試験器です。

特長

- ISO 4589-2:2017 に対応する高精度酸素濃度分析計を標準付属
- 試験する酸素濃度は自動制御
- 酸素指数を求めるアップアンドダウン法の操作性を向上
- 点火時炎高さの標線追加(登録新案)



<参考出展 Module Chamber System>

Module Chamber System 使う人のことを考えた新設計。

モジュール・チャンバー・システムとは、試験機を機能ごとに分割しモジュール化することによって

各機種の共通化を図り、横断的に各機種の生産性、品質、性能、機能を向上させることを目的とした取り組みです。



スーパーキセノンウェザーメーター

特長

- 新機能搭載のタッチパネル
- ・放射照度自動校正機能 ・試験時間管理機能
- ・ランプ使用時間管理機能
- 試料の出し入れが容易な試験槽
- ・大型の開口部
- ・床からの開口部の高さを改良
- 温度発生機は長寿命のチタン製ヒータ採用
- メンテナンス性を考慮した取外しやすい外装パネル



複合サイクル試験機

特長

- 新構造の試験槽
- ・噴霧量・温湿度分布精度の向上
- ・試験移行時の温湿度分布性能の向上
- ・試料の出し入れが容易(噴霧塔の配置・床からの開口部の高さを改良)
- ・小型・分割タイプの試料枠
- ・湿球ガーゼ交換が容易
- ・清掃が容易になった浸漬タンク
- ・空気飽和器への自動純水補給システムの標準搭載
- ・排気処理装置は本体に標準搭載
- 扉はスライド方式で水滴が床に落ちにくく、観察窓に結露しにくいペアガラスを採用し、内部の視認性向上。
- 新型噴霧ノズル
- 温度発生機は長寿命のチタン製ヒータ採用
- 可動式タッチパネル操作盤



塗膜の熱性能試験機

(一社)日本塗料工業会様と(一財)日本塗料検査協会様との共同開発。

遮熱塗料(高日射反射率塗料)などの熱性能を評価するもので、「塗膜を通過した熱量がどの程度か」を測定する試験機。

特長

- 太陽光の分光分布に近似したキセノンランプを搭載
- 自然環境では得られない一定条件を装置内に作り出す事で同一条件において、塗膜を通過する熱量を測定し、塗膜の日射吸収率・日射侵入比を求め、客観的に塗膜の熱性能を評価・比較することが可能
- JIS K 5603、JPMS 29 対応

